

会 議 録

☐全部記録 ☒要点記録

会議名	令和8年度 第1回 姫路市景観・広告物審議会
開催日時	令和8年8月24日（月）14時～16時
開催場所	姫路市防災センター 5階 災害対策本部室
出席者又は欠席者	（現地出席委員） 安枝会長、藤本職務代理者、赤澤委員、岩田委員、宮地委員、前川委員、八木委員、内藤委員、濱田委員、上田委員、高野委員、長田委員、高橋委員、土井委員、下津委員、 （オンライン出席委員） 土居委員 （事務局） 種谷局長、服部部長、富田課長、小寺係長、西村主任、的野技師、坂上主事補 （欠席委員） 橋寺委員、大塚委員、一井委員
傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可 傍聴人 なし
議案又は案件及び結論等	（審議事項） 姫路市都市景観重要建築物等の指定について （報告事項） デザイン事前協議の結果について
議案の全部内容又は進行記録	
（事務局）	（過半数の委員の出席による審議会成立及び傍聴人の報告） （資料の確認） 以降の進行を安枝会長にお願いしたい。
（会長）	まず会議録の署名押印について、前川委員、長田委員にお願いしたい。
（会長）	審議事項『姫路市都市景観重要建築物等の指定について』、事務局より説明願う。（審議事項は非公開）
（会長）	続いて、報告事項『デザイン事前協議の結果について』、事務局より説明願う。
（事務局）	（『デザイン事前協議の結果』について説明）

(会長)	デザイン部会の部会長より補足があればいただきたい。
(委員)	見ていただいて分かるように、少しは歩み寄ってくださったかなという印象。さらにという思いはあるが、事業を止めるわけにはいかないという事情がある。 黒と白の明度差とコントラストを強くつけるのは今の流行の一つでもある。遠景を見ていただいてもそこまで大きな建物ではないが、コントラストが大きいことでより目立つので、できるだけ明度差は抑えて欲しいというところで0.5 ずつだが歩み寄ってくれたというところだ。 階段のところも横ラインをメインでデザインされているので、斜めの部分が目立つのはというところで色彩を配慮してくださっている。 緑については、シンボルツリーなどが欲しいところではあるが、低木で収まっている。 フェンスについては、道路に面して両側に建物がある場合、両方ともフェンスを道路敷地まで持ってきているが、それをできるだけ防ぐのと、そこまで高いフェンスを設ける必要があるのかとも思う。足元のブロックはそのままにしても上のフェンス部分だけでも1m程度控えることで道路を通る時に圧迫感がなくなる。
(会長)	何か他に質問等はあるか。
(委員)	今回黒っぽい建物だが、横に別の建物が建つ場合は、黒に合わせるのか。
(委員)	隣の建物とくっつく場合は問題かと思う。デザイン事前協議で提出された段階で姫路市の基準は満たしているが、基準以上のことをアドバイザーが会議の中で意見を言っているので止めることはできない。同じ色にしてくださいとまでは言わないが、今後新しく検討される場合は、周辺との調和をおねがいする。
(委員)	隣にも黒い建物が建てばどんどん黒い建物が増えていく。そういったことを踏まえると姫路城周辺風景形成地域の中で高さ規制や色彩規制は難しいのか。
(事務局)	外壁の色彩については、一定の基準がかかっているが、高さについては規制はない。以前より景観・広告物審議会で高さのご意見をいただいている。昨年まで審議会の専門部会にご協力いただいて作成した新しい姫路市都市景観形成基本計画の中でも姫路城の眺望を守るというのは、記載しているので今後の課題だと考えている。

(委員)	夜間の景観シミュレーション図で、軒裏が白く光っているが明度はいくらか。
(事務局)	N8.5だ。提出されたシミュレーション図が暗すぎたので明るくし、見やすくしている関係もあって、実際より明るく見えてしまっている。
(委員)	夜の景観シミュレーションほど白くは見えてこないとは思うが、わずか0.5ずつの歩み寄りで外壁の色彩について悔しい感じはする。
(会長)	他に質問・意見がなければ、報告事項は以上であるため、本日の審議はこれをもって終了する。事務局に進行をお返ししたい。
(事務局)	(閉会挨拶)